



JOINT CONCERT

2015 4 / Sun 26 15:00
いずみホール 開場 14時

アンサンブル・キアラ
OSAKA MEN'S CHORUS
女声合唱団エオリアン

I アンサンブル・キアラ

指揮 伊東恵司

翼 みなづきみのり作詩 北川昇作曲

「女声合唱のための 湖国うた紀行」より 松下耕作曲

まゆとり歌

船おろし歌

「無伴奏女声合唱曲集 なみだうた」より 信長貴富作曲

涙

竹久夢二作詩

雨のあと

金子みすゞ作詩

【曲解説】

「翼」

キアラにもご縁のある、みなづきみのり&北川昇の作品。

2013年、愛媛の女声合唱団「歌姫」の20周年に贈られた。

CD「やさしさとさびしさの天使 北川昇女声合唱作品集」に収録されている。

歌詞の内容のように、力強く羽ばたいて行けるような演奏を目指し、

本日は作詞者本人の指揮で歌わせて頂く。

「湖国うた紀行」

滋賀の女声合唱団「栗東カレンジュラ」のために書かれた。

琵琶湖周辺に伝承されてきた民謡やわらべうたを、松下耕が合唱曲にアレンジ。

・まゆとり歌～湖東地方に伝承される女性の労作歌。

素朴ながら跳躍的な高低差に富んだ美しい旋律を、合唱曲にする事で、立体的な表現が成される。

・船おろし歌～湖南地方大津市今堅田町に伝わる民謡。

漁での繁栄福運を祈願した祝い歌で、歌詞には「金銀」や「大黒さん」といった、

めでたい言葉がちりばめられている。

「なみだうた」

山口の女声合唱団「とおんきごう」の委嘱により書かれた信長貴富の無伴奏女声合唱曲で、序+6曲より成る。各曲は涙をテーマに、それぞれ別の詩人(竹久夢二、林芙美子、青木景子、松本可奈子、谷川俊太郎、金子みすゞ)による詩で作曲されている。

豊富な語彙により、日本語独特の細やかなニュアンスが表現され、現代人が忘れかけている情感の脈動を呼び覚ましてくれる作品。

～Profile～

1995年発足。清らかな(キアラ)心で歌い続けたいと命名。

発足当初よりヴォイストレーナー及び音楽監督として、西野七栄先生をお迎えする。

1999年より伊丹アイフォニックホール、いずみホールにおいて過去6回の演奏会を開催。

2000年関西合唱コンクールお母さんの部に初出場、金賞受賞。翌年から一般Aの部に移り、

金賞4回、銀賞9回受賞。2008年客演指揮者として、伊東恵司先生をお迎えする。

2009年7月にはTaipei Male ChoirのWelcome Concertを女声合唱団エオリアンと共催。

アルティ声楽アンサンブルフェスティバル、バンクーバー室内合唱団京都公演の歓迎演奏等にも出演。



ロバート・ショウ合唱曲集より

Vive L' Amour

Aura Lee

Good Night Ladies

Love's Old Sweet Song

Stodora Pumpa

【曲解説】

Vive L' Amour

アメリカで古くから愛されている曲の一つ。
声高らかに「愛に万歳!」「仲間に万歳!」と歌い上げます。

Aura Lee

故郷に彼女を残して出兵していった若い兵卒等によって広く歌われました。
プレスリーの名曲のひとつである『ラブミー・テンダー』はこの曲を原曲としています。

Good Night Ladies

「別れの歌」でよく知られたこの曲は、童謡「メリーさんの羊」と同じメロディーです。

Love's Old Sweet Song

アイルランドの詩人・作家ジェームズ・モロイが1894年に発表した代表作で、
「懐かしき愛の歌」としても知られるアイルランド民謡です。
この歌は船乗りの間で人気があり、彼らがビッグの火付け役になったと伝えられます。

Stodora Pumpa

1962年にNHK「みんなのうた」で『牧場の小道』として紹介されたチェコスロバキア民謡です。

～Profile～

1960年代は大学OBの他には男声合唱団が数少なかった頃。
そんな中「自由に新しいことをやろう」と集まったのがOMCのはじまり。
創立時はコンクールで金賞を連続受賞。10周年にフェスティバルホール、
20周年にシンフォニーホールでリサイタルを上演。それ以降はオペレッタの自主公演に挑戦。
「ブン大将」や30周年として「戦艦ビナフォア」を取り上げる。35周年には創作オペレッタ「イルカ国物語」を
上演。2003年に日本男声合唱協会(JAMCA)に加盟し、全国各地で開催されるJAMCA演奏会に連続参加。
2015年1月25日には50周年記念行事の一環として、いたみホールを会場として第22回JAMCA演奏会を
ホスト役として開催。
近年は男声合唱の真髄に迫るアンサンブルに傾注し、2005年に日本合唱界の名曲「島よ」を作曲家の大中
恩氏による男声編曲と指揮で初演。
また多田武彦氏に依頼して2010年「東京景物詩・第二」、2013年「玄冬素雪」を初演し好評を博す。

IV 合同演奏



指揮 洲脇光一
オルガン 田中美佐子

三つの詩編歌 John Rutter作曲

The Lord is my shepherd. Psalm23 主は私の羊飼い 詩編23

Cantate Domino. Psalm 96 新しい歌を主に向かって歌え 詩編96

I will lift up mine eyes. Psalm121 目を上げて、わたしは山々を仰ぐ 詩編121

【曲解説】

John Rutter(1945～)英国の作曲家・指揮者。彼の作品は合唱曲、管弦楽曲、オペラ、ポップスと幅広く書かれていますが、その中でも合唱曲の作品、編曲が多く、世界の合唱団のレパートリーとなっております。

1980年代には、彼の指揮する、ケンブリッジ・シンガーズによる、クリスマス・キャロルの作曲・編曲CDがヒットチャートの1位になり、Rutterの名が世に出たといえます。

今日演奏する3曲のアンセムは、1993年、米国のダラスでRutterの詩篇曲によるPsalmfest(詩篇祭)が開催された時に演奏された9曲の中からの3曲であります。

詩篇23と121はオーケストラ伴奏曲ですが、今回は、パイプ・オルガン伴奏で演奏します。

